

2022年11月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ブ イ ・ テ ク ノ ロ ジ ー
 代 表 者 代 表 取 締 役 兼 社 長 執 行 役 員 杉 本 重 人
 (コード番号：7717 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 社 長 室 IR グ ル ー プ 長 吉 村 省 吾
 (TEL：045-338-1980)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日公表の2023年3月期の業績予想および配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2023年3月期通期業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,000	4,500	4,400	2,900	444 円 70 銭
今回発表予想 (B)	44,000	700	1,500	1,200	124 円 10 銭
増減額 (B-A)	△1,000	△3,800	△2,900	△1,700	—
増減率 (%)	△2.2%	△84.4%	△65.9%	△58.6%	—
(ご参考)前期実績	51,418	5,461	5,868	4,198	434 円 21 銭

(2) 修正理由

フラットパネルディスプレイ(FPD)装置事業においては、パネル市況の急激な悪化により顧客の業績が著しく悪化し、顧客の新工場立上が延期されると同時に、当社製品に対しても搬入・立上げの延期を要請されました。当社としては、計画通りの製品搬入と工場内での立上げ作業開始を顧客に求め、交渉を継続してまいりましたが、顧客からの要求を受け入れざるを得ず、通期販売計画の修正を余儀なくされました。

このような状況の下、売上は、期初時点で計画外の案件の一部について今期の計上が可能となった結果、延伸分の減少を補い、予想値に対し微減に留まりました。

しかし、期初に計上を見込んだ高収益案件が来期に延伸したこと等からプロダクトミックスが悪化したことに加え、部材調達価格の高騰の影響を設計合理化等のコスト削減による費用削減で吸収できず、利益については、大幅に減少する見込みとなりました。

2. 配当予想

(1) 2023年3月期 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (A)	円 銭 60.00	円 銭 60.00	円 銭 120.00
今回修正予想 (B)	60.00	30.00	90.00
(B) - (A)	00.00	△30.00	△30.00
(ご参考)前期実績	60.00	60.00	120.00

(2) 修正の理由

当社の配当政策に関する基本方針としては、将来の更なる事業拡大に向けた各種の投資や、経営基盤強化のために必要な内部留保の充実を勘案した上で、配当の安定性、継続性等を考慮し、経営成績に応じた利益還元を行っていく方針としております。

しかしながら、2023年3月期の期末配当につきましては、最近のFPD装置事業環境の変化に伴う業績悪化と下期の純利益の状況を踏まえ、配当額を一株当たり60円から、30円減配の30円に修正させて頂くこととなりました。

3. 今後について

LCDの需給は2022年を底に徐々に改善するとともに、FPD装置事業においては延伸案件や開発が進むOLE D関連の製品等の業績寄与が見込まれます。加えて、半導体・フォトマスク装置事業についても順調な成長が見込まれること等から、事業成長に向けた各種施策を確実に遂行することで収益構造の変革を実現し、業績の回復に努めてまいります。

以上

※上記の見通し・予想など将来事象等につきましては、本資料発表現在、当社が入手可能な情報に基づいて作成しております。さまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。